研究主題

個性を認め合い、共に生きる児童の育成

～望ましい集団活動を通して、一人一人が輝く学級活動の指導の工夫～

話合い活動を通してよりよい関係を築く研究

自主的、実践的な活動を通して、児童の自治的能力や自己指導能力、自己実現の力を高める。

様々な集団活動を通して、学級や学校生活の中から集団や個人の課題を見いだし、解決するための方法や内容をみんなで話し合うことができるようにする。

集団として「合意形成」を図りながら、よりよい人間関係を築き、協力して実践することができるようにする。

研究実践の重点

＜具体的な取り組み＞

☆　話し方、聞き方の技能の定着させる。
☆　発言・発表ができる雰囲気づくりをする。
☆　計画委員会を行い、話合いの中心となる提案理由を考えさせる。
☆　教室掲示や掲示物の準備をして、環境を整える。